

総務
部長が

先輩職員にインタビュー（第2回）

広島国税局の総務部長が、採用されてから10年目までの国税専門官採用者に、採用時のことについてまたインタビューしました。



Q 国税専門官を選んだ理由を教えてください

私は、大学の租税法の授業を受けた時に税務の仕事があることを知りました。大学で会計学を専攻していたこともあり、知識を活かせる国税専門官を選択しました。



私は、3年生の時に友人が公務員講座を受講することを聞いて漠然と公務員を選んだのですが、広島国税局が主催した業務説明会に参加した時に、内容が面白かった記憶があります。



私も漠然と公務員を考えていました。市役所などの仕事は何となくどういった仕事をしているのかイメージはありましたが、業務説明会などで国税専門官がどういった仕事をしているか聞いて興味を持ちました。



総務部長

国税専門官の業務説明会を開催する場合には、仕事の内容をしっかり話すことも大事だし、説明する人も大事なだね。

こういう人が働いているんだ、この人と働いてみたいとプラスのイメージを持てただけだと嬉しいですね。やはり就職は「縁」だから。

Q 転勤は国税専門官を選ぶ際のネックになりますか？

私は県外の大学だったので、転勤には特に抵抗はありませんでしたね。



私も転勤はネックと考えていましたが、実際異動しても、そこまで大変ではなかったです。



Q 広島国税局に採用されてからギャップはありましたか？

学生の時は、周りから国税の職場は激務と言われていました。
国税＝査察という警察的なイメージでしたが、実際は残業も少なく、良い意味でギャップはありました。



Q 国税専門官の魅力を教えてください

私は徴収の仕事をしているのですが、大学で学んだ民法やその他の法律を色々使うことができ楽しいですね。
他にも（23年間国税の職場で働くと）税理士資格が取れることも魅力に感じました。



あと正直、給料の高さも魅力でした（笑）



霞が関経験者として言わせてもらえば、国税局や税務署の職場は、国会対応（議会对応）業務がなく、現場業務に集中できるところがいいというか、羨ましいです（笑）